

くまとり

No.47

令和元年11月
発行

議会だより

発行部数 17,000部 1部当たり 17円で作成しています

発行/熊取町議会 編集/広報委員会

熊取町野田一丁目1番1号

☎ 072-452-9023

もくじ
9月
定例会

9月定例会	2ページ
平成30年度決算状況	3ページ
決算審査特別委員会	4～6ページ
主な議案の説明	7ページ
請願・意見書	8ページ
会派代表質問	9～11ページ
一般質問	12～15ページ
議会報告会の予定	16ページ

平成30年度決算を

賛成多数で可決

9月定例会



矢野正憲議長

9月5日から30日までの日程で9月定例会が開催され、一般質問・議案説明と委員会付託・町長から主要施策の成果に関する説明・それに対する会派代表質問が行われました。

平成30年度決算をはじめ、今年の10月より消費税10%の増税にあわせ、幼児教育の無償化がスタートすることになっており、それら関係条例を含むすべての議案が審議され、全会一致または賛成多数で可決、認定されました。

平成30年度決算は、積極的に取り組み全国7位となった「くまとりふるさと応援寄附」76億4千万円を含む202億円（一般会計）となり、対前年度決算額と比べると、75億8千万円の増加となりました。

委員会提出議案として、7名で構成する議会改革検討特別委員会が設置され、矢野・二見正副議長が正副委員長に選任されました。また、議員提出議案の意見書1件が可決されました。請願1件は賛成少数で不採択となりました。

委員会提出議案第2号 議会選任第4号

議会改革検討特別委員会（7名）を設置し、委員を以下のとおり選任

委員長	矢野正憲
副委員長	二見裕子
委員	大林隆昭
委員	浦川佳浩
委員	田中豊一
委員	鱧谷陽子
委員	重光俊則

泉州南消防組合30年度決算審査

平成30年度泉州南消防組合一般会計決算額

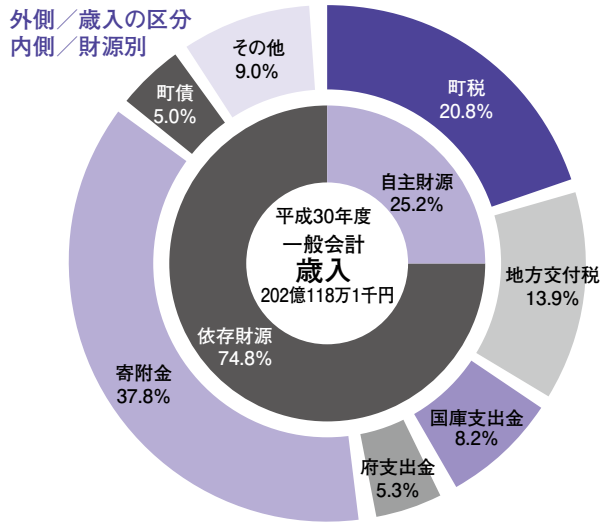
43億4,150万6,077円。

（熊取町の負担金5億4,372万4,889円）

8月に行われた消防組合議会定例会において、熊取町選出議員（二見・河合）から、3市3町の負担金が前年度に比べて9.4%の増加となっている要因について質問。退職者数が通常の数より増加、高度救助工作車の購入によるもの。また、経費削減については契約方法を見直し、一括契約を順次進めるとの答弁あり。

平成30年度熊取町一般・特別会計等決算状況

平成30年度 歳入歳出差引額 2億1,889万9千円
 翌年度繰越額 1億2,275万5千円
 実質収支 9,614万4千円



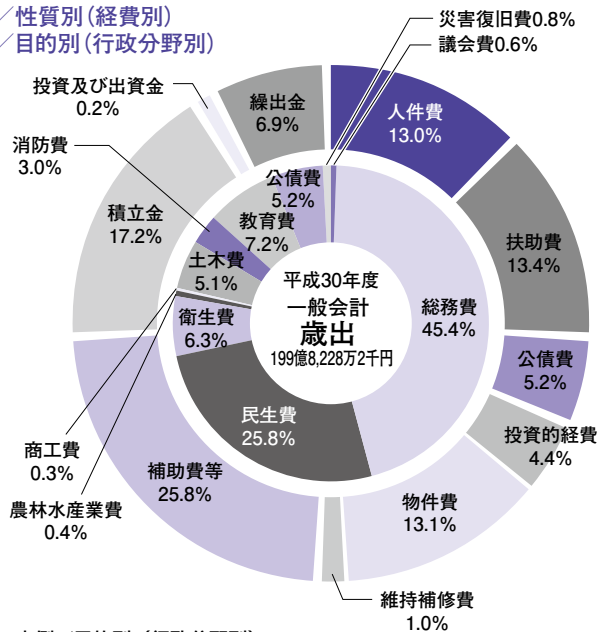
内側/財源別

自主財源/町が自主的に収入することができる財源
 依存財源/国や府から交付される財源

外側/歳入の区分

町税/町民税、固定資産税、軽自動車税等
 地方交付税/地方公共団体が等しく事務を遂行できるよう国が交付
 国庫支出金/国から用途が特定されている費用を交付
 府支出金/府から用途が特定されている費用を交付
 寄附金/ふるさと応援寄附金 町債/町の借入金

外側/性質別(経費別) 内側/目的別(行政分野別)



内側/目的別(行政分野別)

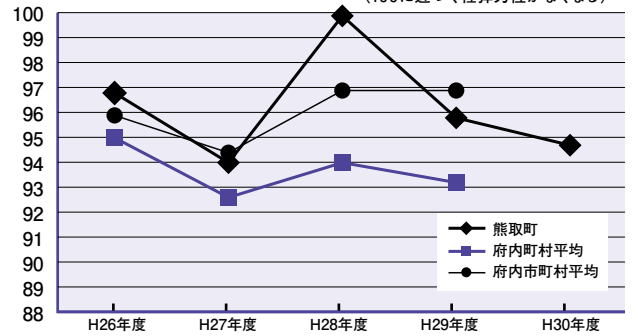
総務費/徴税、戸籍住民基本台帳、選挙、監査等
 民生費/高齢者・児童・障がい者福祉等
 衛生費/清掃、保健衛生、母子保健等
 土木費/道路橋りょう建設・管理、河川管理等

外側/性質別(経費別)

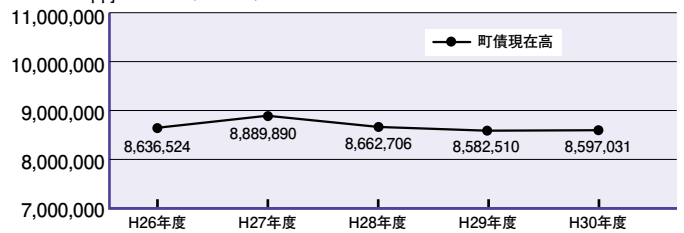
扶助費/児童福祉法、老人福祉法等に基づき支給する費用
 公債費/町の借入金の返済費
 投資的経費/普通建設事業費、災害復旧事業費等
 物件費/委託料、臨時職員賃金、光熱水費等

※構成比は単純四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

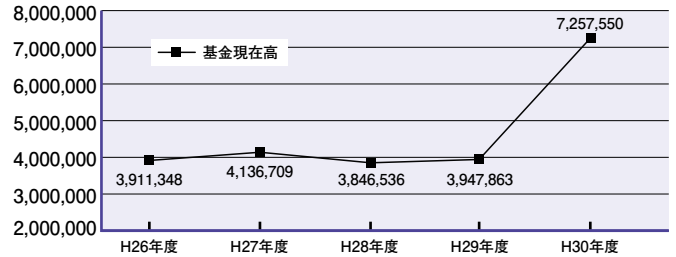
経常収支比率の推移



町債(借金)の推移

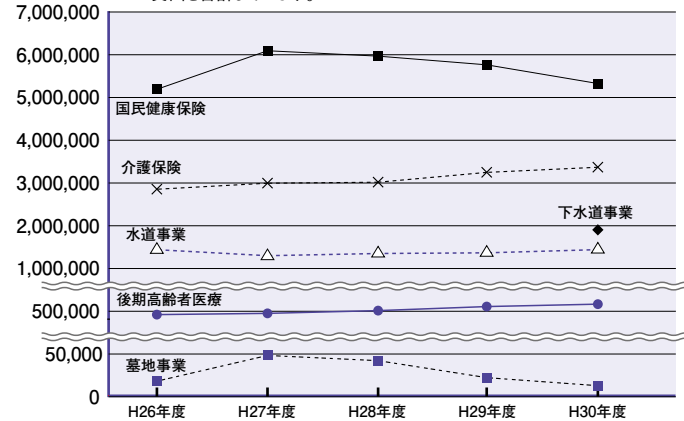


基金(貯金)現在高の推移



特別会計・公営企業会計における歳出の推移

*公営企業会計である水道事業及び下水道事業は、収益的支出と資本的支出を合計しています。



特別会計・公営企業会計決算額

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
国民健康保険事業	5,191,345	6,092,173	5,966,447	5,763,186	5,326,455
後期高齢者医療	460,724	475,318	507,552	554,869	583,088
介護保険	2,856,327	2,997,833	3,020,873	3,251,224	3,371,366
墓地事業	17,512	47,799	41,669	21,674	12,219
水道事業	1,440,558	1,299,987	1,351,659	1,367,286	1,442,315
収益的支出	1,000,765	919,639	918,668	947,569	913,244
資本的支出	439,793	380,348	432,991	419,717	529,071
下水道事業					1,905,742
収益的支出					1,065,885
資本的支出					839,857

※下水道事業は平成30年度より公営企業会計となっています。

質疑

決算審査

特別委員会

ここが聞きたい

動画はこちら



9月9日の本会議において本委員会に付託された、平成30年度一般会計及び各特別会計・水道事業会計・下水道事業会計は、9月19日・20日・24日・25日の4日間にわたり審議しました。町政全般にわたり、各委員から活発な数多くの質疑がありました。その中からいくつかをお知らせします。



文野慎治 委員長

歳入確保について

問 町税の収納率が97.8%と前年度より0.8%ポイント上昇し、14年連続徴収率が向上している。主な理由は？

答 高額滞納案件を対象に府と共同で徴収を行う大阪府地方税徴収機構への参加。また、スマートフォンアプリを活用した納付方法等の利便性を向上させてきている。

防犯カメラの設置

問 自治会から防犯カメラの要望があるが、今後、増設を検討しているか？

答 国・府の補助金があれば設置していきたい。

問 町民の命を守るために、町単費でも推進するべき。安全安心に関することで、ふるさと応援寄附を活用できないのか？

答 (町長) 安全安心が第一。いずれかの時には判断していきたい。

防災関連

問 消防団のこれからの在り方は？

答 消火活動だけでなく、防災も含め活動を考えていきたい。



道路整備

問 (仮称) 駅前延伸線道路改良事業は？地権者は何件か？

答 詳細設計業務は完了したが、事業費が高額なので、着手時期を見合わせる。地権者は、5〜6件。大きい施設がある。

問 大阪岸和田南海線の道路整備と事業区域は重なる。同時に進められないか。

答 熊取駅西交通広場整備事業もあり、今のところ、財政的に難しい。

 田中豊一 委員	 大林隆昭 委員	 坂上昌史 (副委員長)
 坂上巳生男 委員	 矢野正憲 委員	 渡辺豊子 委員

緊急対応について

問 国際交流の委託料不
用額を新しいノベルテイ
グッズ作成に、新たに予
算を確保せず、安易に流
用しているが、これで良
いのか？

答 緊急的に、処理させ
て貰った、今後は運用に
気をつける。

要望 工事費、委託料の
目的は、はっきりしてい
る、不用品は、確実に他
に使用せず、残すように。



ひまわりバス

問 ひまわりバスの利用
者の75%が、高齢者であ
るにも関わらず、福祉、
高齢者等の交通弱者への
視点が欠けていると思わ
れるが、今後の対応は？

答 ひまわりバスの運行
は、交通政策として運行
しているのです、そういう
視点は考えていない。



要望 町民の税金で運行
している、住民ニーズに
添った、運行を望む。

調理室の空調

問 学校の各教室に空調
設備の整備が終了し、効
果が現れている。保育所
で設置されていて、国の
衛生基準にも明記されて
いる調理室と配膳室の空
調設備の設置をどう考え
るか？

答 (町長) 子ども達の
食の安全と調理員の職場
環境の確保には、空調設
備の整備は欠かせない。
計画的に整備を進めて行
く。

その他

問 町立保育所のトイレ
の洋式化はどうか？

答 大規模改修に合わせ
て順次洋式化している。

問 児童への虐待相談・
安全確保は万全を期して
いるのか？

答 学校・教育委員会・
子育て支援課・子ども家
庭センター・警察等、関
係機関との連携を密にし、
きめ細かい相談体制に努
めている。

問 図書館の民間導入・
指定管理者導入は考えて
いるのか？

答 民間・指定管理者の
導入はしない。

問 道路維持修繕の数字
が前年より大幅に減。行
革の影響か？

答 事業の終了などの要
因がある。幾分かは行革
による削減も。

議員の態度表明(○賛成 ×反対 △退場) 態度が分かれたもののみ表示

(議長は、賛否同数の時のみ表明し、議案の成否を決定します。)

9月定例会審議案件	議員名	田中圭介	大林	浦川	坂上昌史	田中豊一	鱧谷	文野	重光	二見	渡辺	河合	江川	坂上巳生男	矢野議長
	会派名	創生	創生	未来	未来	維新	共産	熊愛	熊愛	公明	公明	新政	共産	共産	新政
平成30年度熊取町一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	—
平成30年度熊取町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	—
小学校の少人数学級の実現を求める請願		×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	—

【会派名】 創生:創生くまとり 維新:大阪維新の会熊取 共産:日本共産党熊取町会議員団 公明:熊取公明党 新政:新政クラブ

反対

共産党議員団



小中学校のエアコン設置など、ふるさと応援基金を活用した教育、交通安全対策などの実績は評価する。

しかし大きな問題が2点。ひとつは財政状況が大きく変わったのに第3次行革を見直さない点。国からの経常財源が大きく落ち込んだ平成28年度決算を土台にした計画は過剰な計画だ。保育所民営化や窓口民間委託などは計画自体を撤回すべき。もうひとつは職員削減。退職者の半数しか補充しないという方針を続ける。と5年で20数名の削減に。日常業務にも支障をきたし、災害時の迅速な対応が不可能となる。これ以上の削減は問題だ。国民健康保険は大阪府統一国保の最初の年。激変緩和を活用しても国保料は上がり続け、住民には耐えられない。差押えの多さも問題。国・府への要望と町独自の軽減策を求める。

賛成

新政クラブ



くまとりふるさと応援寄附金が、魅力的な返礼品の企画に注力して、76億を上回る寄附金が集められたという点では、大いに評価する。

民間幼稚園の認定ことも園化に係る施設整備の支援。全町立小学校、普通教室及び特別教室の空調整備の実施。

町道小谷穴釜線道路改良事業が平成31年3月に事業完了。熊取町道路橋梁長寿命化修繕計画に基づき老朽化対策の実施。

タピオステーションの立ち上げ支援等を継続的に実施。老人憩いの家の耐震診断を5カ所実施。

今後においては、第3次行財政構造改革プランに基づき、持続可能な行財政運営の実現に向けて引き続き取り組んでいきたい。

賛成

創生くまとり



今年度の一般会計では6年ぶりに主要3基金からの繰り入れが無かったこと、町税徴収率が97.8%となり14年連続で向上していること、経常収支比率も94.7%と昨年度よりも改善されている所が評価できる。ふるさと応援寄附金も約76億円と大幅増となり、ふるさと応援基金に約34億円積み立てられた点も評価できる。しかし、制度改正などで次年度以降も多額の財源が必要になるのは明らかであり、今年度の決算では、ある一定の財政状況の改善は認められるが、第3次行財政構造改革プランの更なる見直しをはじめ、RPA導入による業務の自動化など、未来に向けた行財政改革を打ち出すなど、さらに効率的で、持続可能な行財政運営を期待する。

ふるさと納税全国7位76億円の実績は、独自財源確保に大きく寄与し、経常経費比率94.7%は、府下平均に改善、税の徴収率も向上し、健全財政が堅持できた。しかし、行政改革の取り組みは不十分であり、今後の行政需要に対応には不安、更なる改革への取り組みを期待する。主要施策では、次の7点に評価します。

- ① 永楽ゆめの森公園の指定管理の導入。
- ② 小学校の普通教室への空調設備の整備。
- ③ 町道小谷穴釜線の拡幅事業の完成。
- ④ 廃棄物処理施設の広域化の取り組み。
- ⑤ 駅西整備着業の事業化スタート。
- ⑥ 都市計画道路路岸和田南海線二期事業の実施と泉州山手線の事業化。
- ⑦ 下水道人口普及率81.1%の実績。

賛成

大阪維新の会 熊取



一般会計、実質収支は約9,614万4千円の黒字。経常収支比率は94.7%で1.1%改善。ふるさと応援寄附金が約76億円と全国7位の成果を評価。町税の徴収率は14年連続向上。さらなる自主財源の確保を望む。小中学校の普通教室に空調設備の整備、被災者支援システムの導入、自主防災組織の結成率100%、産後ケア事業、新生児聴覚検査、スクールソーシャルワーカーの全校配置、町道小谷穴釜線道路改良工事の完了等評価。

今後は、学校トイレの洋式化、学校体育館・給食調理室への空調設備配備、防犯カメラの増設、各避難所への電動式簡易トイレ・カセットボンベ式発電機・液体ミルクの早期導入、町道久保高田線歩道拡幅事業の早期実施、久保区変則6交差の交差点整備、ひまわりバスの利便性向上を望む。

賛成

熊取公明党



ふるさと応援寄附で76億円を頂き「くまとりふるさと応援基金」残高が約39億円となり「防災基金」として10億円を積み立てた事は評価する。この寄附金を貯金として維持せず重要な財源として有効活用し、他自治体に遅れを取らない政策決定の財源として活用すべき。ムダを無くし効率的に事務事業を運営し、人口減少や高齢化に対応できる町政組織を構築すべき。職員のコスト意識の強化と組織のスリム化が不可欠。部長級ポスト削減を前倒し実施するべき。

「ひまわりバス」「防災関係」など従前の所管に拘わらず、縦割りでなく部局横断的な議論を活性化させ、住民ニーズに依拠した仕組み作りを構築するべき。「意見・要望」を政策提言として受けとめ、他市町に先んじた住民ニーズを取り入れたスピード感と透明性を担保した政策決定や改革を行うべき。新年度予算に期待する。

賛成

熊愛



「意見・要望」を政策提言として受けとめ、他市町に先んじた住民ニーズを取り入れたスピード感と透明性を担保した政策決定や改革を行うべき。新年度予算に期待する。

「意見・要望」を政策提言として受けとめ、他市町に先んじた住民ニーズを取り入れたスピード感と透明性を担保した政策決定や改革を行うべき。新年度予算に期待する。

令和元年9月定例会提出議案 町長提案34件・議会提出議案4件・請願1件 (報告6件、補正予算4件、決算7件、条例10件、その他18件)

報告第1号 平成30年度熊取町財政健全化判断比率について
報告第2号 平成30年度熊取町水道事業会計資金不足比率について
報告第3号 平成30年度熊取町下水道事業会計資金不足比率について
報告第4号 第125回大阪府原子炉問題審議会の概要について
報告第5号 熊取町教育委員会活動の点検及び評価(平成30年度事業対象)の結果報告について
報告第6号 損害賠償に関する専決処分報告について
議案第39号 令和元年度熊取町一般会計補正予算(第5号)の専決処分報告について
議案第40号 公平委員会委員の選任同意について
議案第41号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意について
議案第42号 教育委員会委員の任命同意について
議案第43号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
→ **説明**
議案第44号 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
議案第45号 税条例の一部を改正する条例
議案第46号 印鑑登録条例の一部を改正する条例
議案第47号 太陽光発電事業と地域との共生に関する条例 → **説明**
議案第48号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 → **P8討論**
議案第49号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例 → **説明**
議案第50号 空家等の適正な管理に関する条例 → **説明**
議案第51号 水道事業給水条例の一部を改正する条例
議案第52号 工事請負契約の締結について(熊取町立西小学校トイレ改修工事)
議案第53号 工事請負契約の締結について(熊取町立北小学校トイレ改修工事)
議案第54号 工事請負契約の締結について(紺屋上橋橋梁架替工事)
→ **説明**
議案第55号 修繕契約の締結について(環境センター切断機更新に係る修繕)

議案第56号 町立小学校給食用備品の購入について
議案第57号 町立小・中学校の校務用パソコン等の購入について
議案第58号 平成30年度熊取町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第59号 平成30年度熊取町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第60号 令和元年度熊取町一般会計補正予算(第6号) → **説明**
議案第61号 令和元年度熊取町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第62号 令和元年度熊取町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第63号 令和元年度熊取町介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第64号 平成30年度熊取町一般会計歳入歳出決算認定について
議案第65号 平成30年度熊取町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第66号 平成30年度熊取町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第67号 平成30年度熊取町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第68号 平成30年度熊取町墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第69号 平成30年度熊取町水道事業会計決算認定について
議案第70号 平成30年度熊取町下水道事業会計決算認定について
議案第71号 工事請負変更契約の締結について → **説明**
(平成30年災第106号 普通河川雨山川災害復旧工事)
議案第72号 工事請負契約の締結について(熊取町立南小学校トイレ改修等工事)
請願第3号 小学校の少人数学級の実現を求める請願
委員会提出議案第1号 議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例
委員会提出議案第2号 議会改革検討特別委員会の設置について
議会選任第4号 特別委員会委員の選任について
議員提出議案第11号 高齢者の安全運転支援と移手段の確保を求める意見書

主な議案の説明

議案第43号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
嘱託職員・臨時職員などの非常勤職員制度が整備され、会計年度任用職員制度が創設される。
働き方改革の一環として処遇改善される。(期末手当2.6か月分等)
令和2年4月1日施行

議案第47号 太陽光発電事業と地域との共生に関する条例
太陽光発電施設が生活環境、景観その他自然環境に及ぼす影響を考え、太陽光発電施設の設置及び管理について、基本的かつ必要な事項を定め、発電事業と地域との共生を図り、地域住民等の生活と環境の保全に寄与する。
議会が条例制定を促し、理事者から提案があったもの。
令和元年10月1日施行

議案第48号・49号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部(利用者負担)を改正する条例
幼児教育・保育の無償化
【公立・民間保育所・民間こども園】
・3～5歳児の全児童保育料無償。こども園は満3歳児から無償
・0～2歳児は住民非課税世帯のみが無償
【幼稚園】
・満3歳～5歳児の全児童保育料が月額25,700円まで無償。
【認可外保育施設等】
・3～5歳児の全児童保育料が月額37,000円まで無償
・0～2歳児の住民税非課税世帯保育料が月額42,000円まで無償
令和元年10月1日施行

議案第50号 空家等の適正な管理に関する条例
適正な管理がなされていない空家等が少子高齢化の影響により増加傾向にあり、防災・衛生・景観等の地域における町民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことが懸念されるため、空家等対策の推進に関する特措法の施行に関し必要となる事項を条例で定め、町民の生命・身体・財産の保護並びに良好な生活環境の保全を図る。
令和元年10月1日施行

議案第54号 工事請負契約の締結について
紺屋上橋橋梁架替工事及び紺屋上橋水管橋移設工事について制限付一般競争入札により契約を締結
・契約先 (株)橋本建設
・契約金 1億420万7,400円
・工期 令和2年3月31日

議案第60号 令和元年度熊取町一般会計補正予算(第6号)
幼児教育・保育無償化等に伴う措置
2億655万3千円を追加し、146億9,697万7千円とする。

議案第71号 工事請負変更契約の締結について
普通河川雨山川災害復旧工事の契約金の変更と工期の変更 新たに9本杭橋脚を設置するため、契約金1億3,542万9,840円に832万4,800円を増額し、1億4,375万4,640円に変更
工期も令和2年3月2日から3月19日に変更

請願の要旨	請願者	紹介議員氏名
<p>国民的に少人数学級の要望が高まり、それに応えて多くの都道府県が35人以下学級を先行して実施。2012（H24）年には、国の財政措置の実施があり、全ての都道府県で小学1年・2年の35人以下学級が実現。さらに、今日では大多数の都道府県と市町村が独自に小3～6と中学にも35人以下学級が普及。そして、小1について多くの市町村が独自に30人学級を実施し、普及しつつある。</p> <p>(1) 町は35人以下学級を、小3～6年まで拡充すること。 (2) 子どもにとって、小1は保育園や幼稚園とは異なる世界への入り口であり「小1プロブレム」と云われる特別な困難と課題があるため、小1は30人以下学級を実施すること。 (3) 町は少人数学級を独自に推進すると共に、国と府に財政措置の拡充を強く求めること。</p>	<p>熊取町大久保南 5-1-23</p> <p>くまとり社会 保障推進協 議会議長 伊藤 守 事務局長 大浦 正義</p>	<p>文野 慎治 江川 慶子</p>
<p>反対 熊取公明党</p> <p>本請願趣旨の町独自で教職員を採用することは、単年度雇用の講師待遇となり人材確保が困難と考える。まずは、国の法律改正が一番で、教職員の定数の拡充が少人数学級を推進すると考える。</p> <p>また、現在支援学級に在籍する児童はクラスの人数に含まれていない。ダブルカウントによりクラス編成をすることが実態に応じた対応と考える。国の法律改正を求める要望活動を、町議会として行うことが議会としての責任ある活動と捉え、本請願に賛同できない。</p>	<p>反対 新政クラブ</p> <p>熊取町で35名以下学級を、小学3年から6年まで拡充すると、町単費で6人の教員を確保することとなり、約3,000万円の予算が必要。更に小学1年も30人以下学級にすると、2人の教員分約1,000万円の増額となる。これ以外にも空き教室の確保・空調整備などの費用などを考えると非常に厳しいのが、現実である。質の高い教育を実現するための、少人数学級については、町議会としても国・府に財政措置や基準の見直し等意見を要望を行うべきだが、少人数学級の拡充の実現は、あくまでも国や大阪府が真摯に取り組むべき課題であると考えてるので、この請願には、賛成できない。</p>	<p>反対 創生くまとり・大阪維新の会熊取</p> <p>核家族化が進み、女性進出が進む社会に於いて、共働きが多くなり、子どもへの家族の関りが少なくなる中で、教員の関りへの負担が増え、期待されている。社会の変化に国の政策が追いついていない。市町村が独自に教員を加配して、その経費を負担する請願の趣旨には、以下により賛成出来ない。</p> <p>①加配による町単費の負担が年4,500万円となり、毎年度の負担となる。 ②府下の実施市の人口。財政規模が本町より大きく余裕のある市である。 ③配置教員は、定数内でないため、正職ではなく臨時講師となり、採用と質に難がある。 ④本来、国の学級編成と定数の法律改正。任命権者である大阪府が対応すべき事項である事から、要望、陳情を行いたい。</p>
<p>賛成 日本共産党</p> <p>多くの都道府県が35人以下学級を国に先行して実施。また市町村が独自に拡充している。</p> <p>①学習環境を整え給食の配膳時間など短縮できる。 ②先生の過重な負担を和らげ、子どもに寄り添う条件とやりがいを持つ。 ③子育て支援と教育充実の町として、「住みよい町」「住みたい町」づくり。</p> <p>財源は「ふるさと納税」の基金38億円を子育て支援と教育充実にその一部を使い子育て支援と教育充実に大いに活用し、寄附金をいただいた方の期待に応えるべきだ。</p> <p>泉佐野市など6年生まで実現している。全学年が難しいなら町独自で小学3年時のクラス減を対象にしたり支援学級児童のダブルカウントの問題など検討して少人数学級を実現させたい。</p>	<p>賛成 熊愛</p> <p>2012年に国の財政措置の実施があり、多くの都道府県で小学1・2年生で35人以下学級が促進されてきた。大阪府では、泉佐野市を含む13の自治体がすべての学年で35人以下学級である。</p> <p>小学校の少人数学級の実現を求める請願が、「住むなら熊取」を推し進める重要な政策であることは明白である。熊取町で直接の教育関係者が、「大阪でいい先生は確保できないので、実施は無理」と発言はとても理解できないものである。その説明に黙認する熊取町議会議員の態度はいかがなものかと思われる。</p> <p>本請願を可決することにより、熊取町が教育・子育てを大事にするまちであることを、南大阪で宣伝しなければならない。</p>	

意見書を採択

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記事項について早急に取り組むことを強く求める。

1. 安全サポート車やペダル踏み間違い時加速抑制装置の普及と導入支援策の検討
2. 安全サポート車に限定した免許の創設、条件付き運転免許の導入。
3. コミュニティバスやデマンド型乗り合いタクシーの導入など、地域公共交通ネットワークの充実を図ること。地方自治体が行う、免許自主返納時におけるタクシーや公共交通機関の割引制度を支援すること。

提出先 内閣総理大臣、国土交通大臣、経済産業大臣、総務大臣、国家公安委員長

議案第48号 賛成討論 日本共産党

「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」

10月から行われる保育無償化は、0～2歳児の課税世帯は保育料が必要である。また、給食の副食費は無償化の対象外として別途徴収される。条例は、副食費の免除制度が設けられた。泉佐野市・田尻町は全員を無償化。町は年収360万円以上の世帯は支払いが必要である。「見極めの時期がほしい」との町長の発言があったので指摘した点を将来是正することと受け止め賛成とする。

熊取駅西整備事業について 都市計画道路整備促進事業について

新政クラブ 河合 弘樹



熊取駅西整備事業について
問 これまでの経緯と進捗状況は？

答 平成28年3月に駅西整備に係る都市計画決定を行い、平成30年8月に交通広場の事業認可を取得し、現時点での進捗として、詳細設計業務及び用地測量業務を継続して進めるとともに、関係地権者との交渉を重ね、概ね整備内容が整ってきている状況である。

問 用地買収・整備工事の着工及び事業完了予定年月は？

答 平成30年度より、関係地権者との交渉に着手しており、今年度から令和2年度にかけて用地買収を行い、整備工事を進め、令和2年度末に整備工事完成を目指し鋭意事業に取り組んでいる。
問 宿泊施設誘致のスムーズに実施しているが、

パーホテル建設に向けての進捗状況は？

答 平成28年10月に宿泊施設誘致条例を制定し、スーパホテルとの間で平成30年4月からの30年間を存続期間とする事業用定期借地権設定契約を締結し、令和元年8月30日に着工され令和3年2月に開業予定。



都市計画道路整備促進事業について

問 大阪岸和田南海線・第2期事業区間の道路詳細設計については？

答 平成29年～30年度にかけて実施しているが、

現在、2箇所の二級河川との交差点において、橋梁予備設計を行っており、今年度下半期に橋梁詳細設計を実施する。

問 補償算定業務・用地買収・整備工事の着手については？

答 補償算定業務は、境界確定が完了した事業用地を対象に平成30年度から着手し、用地買収も買収価格や補償費の算定が完了した用地を今年度から着手しており、整備工事は、一定の整備区間が確保できれば、着手していく。

問 (仮称)駅前延伸線道路改良事業の進捗状況については？

答 平成30年度に詳細設計を実施したが、事業着手を先送りする。

問 現在、2箇所の二級河川との交差点において、橋梁予備設計を行っており、今年度下半期に橋梁詳細設計を実施する。

問 補償算定業務・用地買収・整備工事の着手については？

答 補償算定業務は、境界確定が完了した事業用地を対象に平成30年度から着手し、用地買収も買収価格や補償費の算定が完了した用地を今年度から着手しており、整備工事は、一定の整備区間が確保できれば、着手していく。

問 (仮称)駅前延伸線道路改良事業の進捗状況については？

答 平成30年度に詳細設計を実施したが、事業着手を先送りする。

ひまわりバスの現状と これからの地域公共交通網について

創生くまとり 大林 隆昭



ひまわりバスについて
問 ひまわりバスの現在の運行状況について。

答 現行は4コース、1日8便運行している。

問 乗り継ぎ拠点の待合所を空調付きの待合所に改修できないか。

答 改修には費用、維持費も必要となるので現在は考えていない。

問 紺屋1丁目バス停に複数ルートから乗り入れできないか。

答 今は考えていない。

交通空白地について
問 道幅や坂道の傾斜度の都合で、ひまわりバスでは侵入できない道が多く存在。小型のコミュニティバスやデマンドタクシーを導入しては？

答 現在の運行ルートで交通空白地が出ないようには考えていない。

問 地域公共交通会議の設置
問 地域住民、利用者、熊取町、交通事業者などで構成される「地域公共交通会議」を設置し広く意見を求めてサービスの向上、地域ニーズの把握に努めてはどうか。

答 現在はひまわりバスの利用者数も年々増加している。地域公共交通会議を設置する必要がある。

問 人口減少が進む社会でお互いに乗客を取り合う様な路線を維持していくのではなく、民間で維持可能な路線は任せ、民間でカバーできない部分をひまわりバスが巡回し、「お出かけ支援バス」などを発行して、料金を差を打ち出し、民も官も、持続可能な公共交通網を構築す

答 現在は、路線バスとひまわりバスの役割分担は一定出来ており、ひまわりバスの利用者アンケート調査でも8割の方が普通以上の回答となっている。路線バス事業者とは協議を行っていく。

要望 ひまわりバスの利便性の向上ではなく、熊取町民の交通利便性の向上を考えてほしい。

問 人口減少が進む社会でお互いに乗客を取り合う様な路線を維持していくのではなく、民間で維持可能な路線は任せ、民間でカバーできない部分をひまわりバスが巡回し、「お出かけ支援バス」などを発行して、料金を差を打ち出し、民も官も、持続可能な公共交通網を構築す

答 現在は、路線バスとひまわりバスの役割分担は一定出来ており、ひまわりバスの利用者アンケート調査でも8割の方が普通以上の回答となっている。路線バス事業者とは協議を行っていく。

要望 ひまわりバスの利便性の向上ではなく、熊取町民の交通利便性の向上を考えてほしい。

問 人口減少が進む社会でお互いに乗客を取り合う様な路線を維持していくのではなく、民間で維持可能な路線は任せ、民間でカバーできない部分をひまわりバスが巡回し、「お出かけ支援バス」などを発行して、料金を差を打ち出し、民も官も、持続可能な公共交通網を構築す

答 現在は、路線バスとひまわりバスの役割分担は一定出来ており、ひまわりバスの利用者アンケート調査でも8割の方が普通以上の回答となっている。路線バス事業者とは協議を行っていく。



会派代表質問

3月(予算)・9月(決算)定例会において会派を代表して行われます。

会派質問の
動画はこちら▶



会派質問の
動画はこちら▶



予想以上に減少していく若者・子育て世代への対応
教育・保育の無償化に伴う副食費の取り組み方針

未来 浦川 佳浩



若者・子育て世代の減少数の推移

問 2010年からの若者・子育て世代の人数及びその子どもの人数推移は？

※各年3月末日現在の人口 (単位：人)

減少数	2019年	2010年	
-2,516	6,367	8,883	25歳～39歳
-895	5,963	6,858	0歳～14歳
-3,411	12,330	15,741	合計

答 左図参照

教育・保育の無償化に伴う副食費(給食費)の本町の取り組み方

問 熊取町は、ふるさと応援寄附により多額の財源を得たが、本年10月か

らの教育・保育の無償化に伴う副食費の扱いについて、なぜ藤原町長は有償にしたのか？現在のところ、泉佐野市や田尻町は無償で対応すると聞いている。

答 副食費を熊取町が負担した場合、年間4,700万円の財政負担となる

事や、保育所に預けず、家庭内で子育てした場合との公平性の観点から、保護者に負担頂く事とした。
町長 限られた財源を必要な所にバランス良く配分したい。その為には、住民に少しずつ財政負担をお願いしたい。

要望 国立社会保障・人口問題研究所の2030年予測によると、若者・子育て世代は更に減少していく事が予測され、それに伴い、本町の人口全体でも4万人を割り込む事

が予測されている。

(単位：人)

2030年	
5,459	25歳～39歳
4,442	0歳～14歳
9,901	合計

※社人研の将来推計値より引用

人口減少時代に突入しており、一定の理解は出ているが、現行の緊縮財政・町政運営をこのまま続けると、泉佐野市や田尻町などに都市間競争でも負け、予想を上回るスピードで若者・子育て世代が他市へ転出してしまいう事にも繋がる。町の活力維持、更には税収確保の為にも、若者・子育て世代に對しての大胆な転入促進及び定住促進施策の実施を期待する。

会派質問の動画はこちら▶



小中学校の学校教育のICTの整備を
学校における教育働き方改革の推進を

熊愛 重光 俊則



学校教育の情報化推進

問 小・中学校のコンピュータの整備状況は？

答 小学校が各20台、中学校が各校40台である。

平成30年度からの5カ年計画を目前にICTの整備を行い、令和2年度からタブレットを小中学校で1校40台に整備し、校務用パソコンについては令和元年に教職員の1人1台の配備を完了する。

問 各小・中学校における、ICT支援員の人数確保状況は？

答 ICT支援員は、コンピュータ教室の機器更新及びサーバーサーバーに伴い令和2年度に一定時間数配置予定で、継続配置は検討中。

問 国の補助金を活用する準備はできているか？

答 現状では特段の補助金制度は見受けられない。

問 国の補助金を活用する準備はできているか？

答 現状では特段の補助金制度は見受けられない。

問 国の補助金を活用する準備はできているか？

答 現状では特段の補助金制度は見受けられない。

問 国の補助金を活用する準備はできているか？

答 現状では特段の補助金制度は見受けられない。

要望 国は令和4年度までの5年間で、単年度で1805億円の財政措置を発表している。熊取町は早急に国への要請を行うこと。

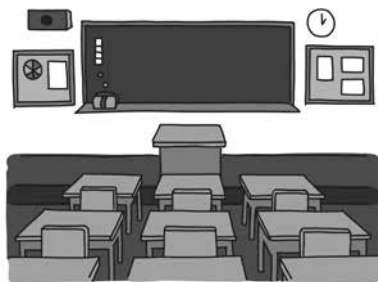
問 中学校のクラブ活動補助員の現状は？

答 平成30年度実績で、北中学校が5名、南中学校が3名、熊取中学校が2名だった。

要望 中学校教員の在籍時間は給与と連動していないのが実情であり、より多くのクラブ活動補助員の活用を含めて、教職員の負担軽減も促進すること。

問 中学校における教員の働き方改革として何をしようとしているか？

答 2018年度にタイムレコーダー設置した。



教員の働き方改革

問 中学校における教員の働き方改革として何をしようとしているか？

答 2018年度にタイムレコーダー設置した。

会派質問の動画はこちら▶



自助・近所・共助の自主防災体制を！
胃がん検診のきつかけづくり 胃がんリスク検診の導入を！
食品ロス削減！ 月曜日は「食へマンデー」！

熊取公明党 渡辺 豊子



防災対策について

問 自主防災組織と連絡協議会の活動について。

答 自主防災組織は、39の自治会全てに組織され、防災委員等を選任し防災活動に取り組んでいる。連絡協議会は、防災マニュアルの作成を来年1月完成目標に取り組んでいる。

問 避難訓練は？

答 各自主防災組織において取り組んでいる。

問 寝屋川市では、防災グッズの購入費用の半額補助、災害時支援バンドナの無料配布を行っている。取り組んでいるか？

答 個人への補助金施策は極めて困難。バンドナについては、配布する考えはないが、計画的に備品の整備に取り組む。本年度防災資機材の充実と

して、電動式トイレ、発電機、投光器、液体ミルクの備蓄に取り組む。

がん検診推進について

問 受診状況は？

答 30年度肺がん検診は14.5%。胃がん検診は5.7%。大腸がんは13.5%。乳がんは20.1%。子宮がんは24.0%。

問 胃内視鏡検査が開始されたが、受診状況はどうか？

答 胃がん検診受診者は802名で、そのうち胃内視鏡検査は155名。

問 胃がんリスク検診の導入については？

答 胃がんでの死亡率減少につながるかの検証が不十分。国の見解を注視していく。

問 大腸がん検診の取り組み状況は？

答 5歳刻みの年齢到達時に受診勧奨ハガキを送

付する等の啓発に取り組んでいる。

要望 行動科学の知見を生かした手法（ナッジ効果）による受診勧奨を検討してはどうか。

食品ロス削減について

問 食品ロス削減についての取り組み状況と推進計画策定については？

答 本年11月環境フェスティバルのテーマ「みんなで減らそう！プラごみ&食品ロス」で開催予定。計画策定は近隣市町の動向を注視し、来年度に向けた施策展開を検討。



会派質問の動画はこちら▶



ふるさと応援基金の大幅増など、諸条件が変化している。
第3次行革プランは、計画そのものを見直すべきではないか。

日本共産党熊取町会議員団 坂上巳生男



第3次行革の見直し

問 第3次行革策定時に比べ、地方交付税や基金の増加など条件が変化している。見直しが必要だ。

答 ふるさと応援寄付の効果額を除けば行革の成果は目標に達していない。保育無償化や非正規職員の制度改革による財政負担もある。手綱をゆるめる見直しは考えていない。

問 ふるさと応援基金の活用はどうか。

答 10億円は防災基金に積んだ。残り28億円は寄付者の意向をふまえ、子育て・教育の分野での施設改修など適切に対応していく。

幼児教育無償化の対応

問 幼児教育・保育の無償化で、保育所などを利用する児童の増加が見込まれる。対策はどうか。

答 ハローワークの協力

で就職相談会の実施など保育士確保に取り組んできた。また私立幼稚園の認定こども園化を支援し、受け皿の拡大にも努めた。

高齢者の外出支援策

問 運転免許返納者への5年間のひまわりバス無料定期券は喜ばれているが、免許のない方には不公平感も大きい。外出支援策として割引定期券の制度を作ってはどうか。

答 アンケートでは料金が適正、安いが8割。有料定期券の導入が利便性向上につながるか、利用者の動向を注視したい。

問 タクシーを利用せざるを得ない高齢者も多い。高齢者向けタクシー利用補助制度を提案したい。

答 社会福祉法人の有償運送サービスや地域住民による買い物、通院など

の移動支援活動も行われている。有効な支援方法を、地域のご意見を聞きながら検討したい。



経費が必要となる。ご理解いただきたい。

会派質問の動画はこちら▶



会派代表質問

「広報くまとり」A4版化・予算枠拡大を！
「ひまわりバス」の役割、福祉対策として捉えるべき！

文野 慎治



「広報くまとり」について

要望 過去3回質問、要

問 広報紙は、町行政と

望している。今やA4版

住民を繋ぐ重要なツール。

の時代。タブロイド版は

現状認識は？

保管がしにくく記事を探

答 住民の皆様は手に取

すのが困難。A4版は保

って読んでもらえる、よ

存し易く直ぐ必要な記事

り親しみやすい紙面づく

が探せる。そもそも熊取

りを心掛けています。

町の予算が他市町の半分。

問 A4版に変更するた

算枠の増大が必要。住民

めの障害は？

自らが住む自治体を選択

答 ① ページ数の増加。

する時代。町のイメージ

それに伴って印刷費用が

そのものが「ブランド」。

タブロイド版の2倍以上

泉佐野市や島本町の広報

と想定。② 配布時のボリ

紙は抜き出ている。早

ユウムの増加。以上が課

急な検討を求めている。

子どもの通学路の改善を！
工場の騒音をなんとかして！
全世帯に広報を届けて！

江川 慶子



通学路の改善について

問 小垣内区の旧170

号線の通学路について改

善を求めるが状況は？

答 北小学校の通学路設

定の動向に応じて府と調

整し検討している。薄い

路面標示は府に早期改善

を要望する。下中商店か

ら義本回正堂までの路側

帯のカラー化は今年度中

に行う。

旧NNT付近の横断歩

道の設置は、警察の管轄

である。交通量や歩行者

の状況、地元の意向が強

いのであれば設置を要望

していく。

住んでよかったと思え

る住環境に

問 工場と住宅が隣接し

ている地域の騒音や臭気

などへの対応と改善を求

めるがいかがか？

答 相談、苦情があった

場合、聴き取りのうえ相

子ども通学路の改善を！
工場の騒音をなんとかして！
全世帯に広報を届けて！

江川 慶子

談者と共に現場確認をす

る。次に事業者に対して

苦情等があった旨を通告

し、工場等の立ち入り調

査を行うなど、騒音等の

原因と考えられる作業等

の確認をする。

騒音測定は町営で、臭

気測定は業者委託で行う。

測定結果は双方に伝え法

令等に基づく規制基準に

適合するかしないかを調

べ、周辺の生活環境がそ

こなわれないよう事業者

に対し改善するよう勧告

や命令を行う。適合して

いなくても共生するため

の方法を模索していく。

また公害紛争処理の専

門機関である「大阪府公

害審査会」への申請等の

案内をすることもある。

全世帯に「広報くまと

り」の配布を

問 自治会未加入家庭へ

の配布は？

答 各区長、自治会長に

委嘱している町政連絡事

務嘱託員の職務のひとつ

として、広報紙や回覧等

の配布を依頼している。

図書館・煉瓦館などの公

共施設、一部のコンビニ

やスーパー、郵便局へも

配置。4月から無料アプ

リ「マチイロ」から「マイ

広報紙」への掲載を開始。

スマホで気軽に読める。

相談があれば個別にも対

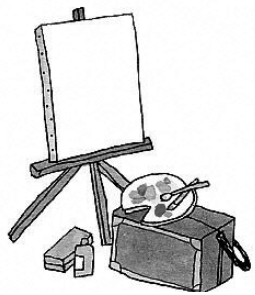
応する。

「自治体広報のあり方研究会」報告書
■自治体広報の課題
○行政の発信する情報が住民の求める情報となっていない (お知らせ広報・アライバイ広報・やりっぱなし広報)
○職員の広報公聴意識が欠けている 住民の関心を得られていない、住民ニーズの把握・共有できない
↓
■課題解決への取組み
○住民と共につくる広報 「住民に理解される」という目的を徹底する
○行政の意識改革 全職員が広報公聴の役割を理解する、積極的に住民ニーズを把握する、収集した情報の共有を行う、戦略的な広報を行う
■A4版 泉大津市・和泉市・泉佐野市・泉南市・阪南市・田尻町・岬町・忠岡町
■タブロイド版 貝塚市・岸和田市・熊取町
■広報紙1部当たりの単価比較 熊取町 約14円～16円 島本町 約35円 泉佐野市 約31円～39円

一般質問の
動画はこちら▶



一般質問の
動画はこちら▶



学校図書館と熊取図書館の連携について
 大阪体育大学と浪商高校の通学路に於けるバイク・
 自転車交通マナーについて
 会計年度任用職員の任用について



田中 豊一

問 学校図書館のネットワーキングについて

答 現在、中央小954冊、西小8799冊、南小7314冊、北小8940冊、東小9054冊、熊中9259冊、北中9095冊、南中8877冊、貸出方法は、逆ブラウン式の紙のカードで、手作業管理する方法

問 府下の学校図書館のネットワーク化の実績は？

答 学校図書館電算化は府下43市町村のうち34市町村で、実施されている。

大阪体育大学と浪商高校の通学路に於けるバイク・自転車の交通マナーについて

問 通学許可の出ているバイク・自転車の台数は？

答 バイクは、大体大で、1453台、自転車は、

高校で630台、合計1360です。

問 交通マナーの取り組みは？

答 大体大では、警察との連携で、交通ルール講習会、マナーアップキャンペーンを、春・秋に計5回、大学単独では、クラブ代表者会議での交通安全講習の実施、交通違反等で通報のあった場合の本人に指導、処分も実施し、対処している。高校では、登下校時に、主要交差点に教員が立ち指導している。

問 下校時の自転車による無灯火運転、信号無視対策は？

答 道路交通法違反となるので、取り締まりの対象となる、取り締まりだけでなく、学生・生徒に指導の徹底をはかり、警察との連携で、登下校時の

交通安全対策に取り組む。会計年度任用職員の任用について

問 熊取町への影響は

答 国による統一的な、非常勤職員の制度改革で、期末手当の支給や給与面の処遇の改善により、人件費の増大の影響がある。

問 大阪府の最低賃金の改定に伴い、単価の低い職種についての改定を。

答 近隣自治体と比較して、見直し検討を行う。



一般質問の動画はこちら▼



平成31年熊取町議会議員選挙公報配布漏れ・選挙後配布について



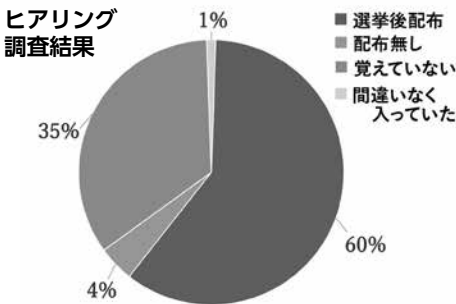
田中 圭介

熊取町議会議員選挙公報漏れ・選挙後配布について

問 6月の一般質問時、

選挙の答弁では、配布漏れも選挙後配布も「絶対無い」との答弁でしたので、当該地区の住民の皆様は協力していただきヒアリング調査をし、配布漏れ家庭には署名・捺印を頂き、令和元年七月二十五日に藤原町長に提出致しました。その結果を見て

選挙はどう思いますか？



熊取町委託随意契約業者と一般ポスティング業者数社との比較調査結果

業種	ポスティング方法	配布報告	選挙公報単価(1枚あたり)	全世帯価格(1万8千世帯)
委託業者A社	運送配送業	ゼンリン地図	43円(税抜)	77万4千円(税抜)
ポスティング業社数社	ポスティング業	ゼンリン地図+GPS	10~25円(税抜)	18万~45万円(税抜)

調査結果を見たところ

ろ配布漏れ・選挙後配布が明らかだと思えます。もっと踏み込んだ調査をするべきだった。

問 7月の参院選で、シ

ルバー人材・職員で選挙公報配布した総額は？

答 64万6千4百円

問 委託料50万以上の

随意契約の件数は？

答 178件です。

要望 一般競争入札は多

少変わりましたが、随契約は何か変わったように感じられない。各課で見直し、他市町や一般の情報を取り入れ、財政難のおり血税の使い方を考えて欲しい。

問 住民さんに謝罪は？

答 考えます。(9月13日に、広報くまとり10月号とHPに掲載すると連絡あり)

一般質問の動画はこちら▼

一般質問の動画はこちら▼



国の幼児教育・保育の無償化にどう対応するのか？
会計年度任用職員制度で2億4千万円の財政負担増？

重光 俊則



幼児教育・保育の無償化の問題

問 熊取町内の公立保育所・民間保育園、民間認定こども園における、熊取町の負担増はいくらになるか？

答 公立保育所（4園）は、国からの歳入がなくなるので、歳入歳出差引は6898万円の負担増。民間保育園では、歳入で保育料が4073万円の減になるが無償化による施設給付費で、国と府の負担金が増加し町負担とはならない。民間認定こども園、民間幼稚園も単年費負担も負担増はない。ただし、令和元年度は無償化の実施に係る地方負担の財政措置は、全額国費で負担としている。

要望 この度の国の幼児教育・保育の無償化は、これまでの国の負担を自治

体に肩代わりさせるまったく横暴な決定です。泉佐野市は市の金で完全無償化を実現しようとしています。

熊取町は公立保育所の一般会計負担増を黙認しようとしています。「子育てのまち」の方針からみて、ふるさと応援基金を活用すべきです。



会計年度任用職員制度による財政負担

問 現在の熊取町の職員構成が来年度からどのような職員構成になるのか？

答 現在、正職員でない嘱託員は95人、臨時職員は261人で、これら人員費だけで年間9億円の負担となり、2億4千万円増加する。

問 この負担増はどこから調達するのか？

答 「第3次行財政アクションプラン」で職員数の削減をするが、これらの削減にも限界がある。

要望 国に財政措置を強く要請するとともに、町はさらなる財政改革を覚悟するべし。

一般質問の動画はこちら▶



18歳未満の人工内耳体外装置の購入に
対する助成について
中学校のクラブ活動について

坂上 昌史



人工内耳の体外装置の購入について

問 以前、二見議員が質問していた人工内耳の電池購入の補助について、は？

答 国の示している日常生活用具の要件の一つとして「日常生活用品として、一般に普及しているもの」とされていることから、大阪府内の多くの自治体が、対象品目としていない状況である。引き続き検討していきたい。

問 1台およそ60万円以上する体外装置は、装用者の自己の責任の下で一生続く。しかし医療保険は最初の手術と1台目の機器のみか適用されない。装用者の保護者の大きな経済的な負担となっている。両耳装用者の負担は、その倍になる。人

工内耳の再度の購入の補助についてどのように、考えているか？

答 買い換え等の購入助成は、障がい者の身体機能を補完するものであるため、補聴器等と同様に補装具の位置付けが望ましいと考えており、現在岸和田市以南の自治体では、補助を行っていない状況である。近隣自治体の動向や町財政を踏まえながら検討したい。大阪府を通じ国に対し補装具の支給品目に追加されるよう要望していきたいと考えている。

中学校のクラブ活動について

問 現在、町内の各中学校には各種クラブの有無の差がある。やりたいクラブが区域外の中学校にしかない場合、希望のクラブに入ることはできない。放課後のクラブ活動について各中学校のクラブを統合して、どのクラブにも参加できるようにするのはどうか？

答 クラブ活動は各校の教育目標達成のための活動であることから、クラブ活動の統合や他校への参加は、趣旨にそぐわないと考えている。



一般質問の動画はこちら▶



「防災元年」更なる防災事業の充実を！
高齢者の移動支援の充実でイキイキと外出を！
子育て支援の充実を！

二見 裕子



防災について

問 避難施設における支
援物資の受け入れ通路は。

答 全ての小中学校には
車両の進入が可能な出入
り口があり、グラウンド等
を通過の上、体育館に車
両の横付けが可能。南小
学校については隣接する
学童保育所の出入り口か
ら車両侵入が可能。

問 避難所の備蓄物資の
内容は。

答 最大被害想定の上町
断層地震Bを想定し備蓄。
今年度は新たに1基防災
倉庫を追加設置し、段ボ
ールベッド、毛布、組み立
てトイレ、電動トイレ、ガ
スボンベ式発電機、投光
器を追加整備。



問 土砂災害特別警戒区
域付近の避難施設（東小
学校）は大丈夫か。

答 東小学校正面道路が
閉鎖の状況の際は、その
他の避難所や老人憩いの
家の開放等を避難施設と
して確保を想定。

問 LINEを導入・活
用した情報発信はどうか。

答 情報発信については
調査研究を進め、適時的
確な発信に努める。

要望 具体的な調査研究
を進める為に、LINE
主催のセミナーに参加を。

高齢者移動支援について

問 高齢者福祉の観点で
移動手段の充実を。

ている。今後も行政とし
ての有効な支援方法を検
討する。

問 高齢者が運転免許証
を自主返納しても、外出
に困らない、取り組みは。

答 ひまわりバスのバス
停を万代前に移設、和田
区内にバス停を新設し、
利便性の向上に取り組み
ている。

問 国・府の動向を注視
し、町の財政状況を勘案
し、慎重に検討。

答 学童保育の現状は。
年々増加。施設整備、
環境改善に取り組む。



子育て支援について

問 子ども医療費助成事
業の拡充はあるか。

答 国・府の動向を注視
し、町の財政状況を勘案
し、慎重に検討。

問 学童保育の現状は。
年々増加。施設整備、
環境改善に取り組む。

答 学童保育の現状は。
年々増加。施設整備、
環境改善に取り組む。

自治基本条例を住民と共に作っていけないか？
一人暮らしで、家族の無い方への支援は？
体育館のクーラー設置について

鯉谷 陽子



自治基本条例について

問 自治基本条例を住民
と共に作ることで、町長、
議会、職員、住民が、ま
ちづくりの協働の意味を互
いに理解すると思われる
がいかがか？

答 本町では、「協働 参
画のまちづくり」を進め
るのに「熊取町協働憲章」
を制定し、住民やコミュ
ニティ組織などと行政が、
連携・協働してまちづく
りに取り組むことを定め
ています。自治基本条例
を検討してきた経過はあ
るが、定めるべき内容を
すでに「熊取町協働憲章」
で定め実践しているの
であって制定する必要はな
い。

問 一人暮らしで、家族の無
い方への支援は？

答 一人暮らしで家族の
ないかたは、不安を持つ
ている。支援してもらえ
るのか？

答 生活福祉全般の相談
としてCSW（コミュニ
ティソーシャルワーカー）
職員の窓口相談等と
地域において民生委員見
童委員の皆さまの協力を
えている。町でも周知を
図っていききたい。

要望 後見人制度を利用
したいと思われたが、費
用も高く、思ったような
利用はできないようだ。
介護保険の相談は、受け
てもらえるが、他の相談
はしにくいようだ。
色々な状況の方の対応
をお願いしたい。

体育館のクーラー設置
について

問 今年の夏も暑さが厳
しく、体育館で、倒れた生
徒がいたようだ。一日も
早く体育館にクーラー設
置ができないか？

答 学校の普通教室に比
べて、体育館は大きく、多
額の経費を要する。補助
金を得ても、町の負担は
2億5千万以上となるた
め速やかに整備すること
は困難である。補助額を
引き上げるよう国や府に
要求する。



一般質問

一般質問の
動画はこちら▶



一般質問の
動画はこちら▶



議会報告会

の予定

～議会とミーティング～

班構成 (○は班長)

1 班

○坂上 巳生男、田中 圭介
浦川 佳浩、渡辺 豊子
河合 弘樹

2 班

○重光 俊則、大林 隆昭
坂上 昌史、二見 裕子
江川 慶子

3 班

○鱧谷 陽子、田中 豊一
文野 慎治、矢野 正憲

定例会閉会後に各地区で実施します。各地区での報告会は「議会とミーティング」という形で、地区の要望をお聞かせいただき、今後の施策の反映にいかします。全体会の実施につきましては、年2回(11月・5月)の開催を予定しています。又、各種団体との意見交換会の実施も予定しています。

「手話通訳」をご希望の方は、早めに議会事務局へご連絡ください。

議会報告会全体会

日時／ 11月24日(日)午後5時～
会場／ 煉瓦館(熊取交流センター) 講義室A
担当／ 9月定例会決算審査特別委員会委員

班	11月実施予定(9月議会報告)		
1	紺屋	11月16日(土)	午後7時～ 老人憩の家
2	桜が丘	11月23日(土)	午後6時～ 老人憩の家
3	青葉台	11月23日(土)	午後7時～ 老人憩の家

班	2月実施予定(12月議会報告)	5月実施予定(3月議会報告)
1	野田、大原	東和苑
2	泉陽ヶ丘、七山	つつじヶ丘
3	和田、成合	緑ヶ丘

姉妹都市ミルデューラ市から熊取町へ!



だんじりと記念撮影



祭りのワンショット!



議会に表敬訪問

12月定例会予定

みんなの議会、
傍聴しませんか?

会議はいつでも
午前10時からです。

(12月11日(水)の
議会運営委員会のみ
午後1時30分からです。)

議事の進み具合により、会議が終了している場合もあります。
日程は変更する場合があります。直前にお問い合わせください。

本会議の日程 12月4日(水)・5日(木)・19日(木)

[予備日]12月6日(金)

委員会の日程

(直接傍聴及び別室傍聴)

議会運営委員会 11月28日(木)・12月11日(水)

事業厚生常任委員会 12月11日(水)

総務文教常任委員会 12月12日(木)

広報委員会
委員長 二見 裕子
副委員長 文野 慎治
委員 大野 隆昭
委員 坂上 昌史
委員 田中 豊一
委員 河合 弘樹
委員 坂上 巳生男

強化します。
(S・B)
「防災元年」と位置付けた熊取町の防災対策を、議会は住民目線でチェック・提言し、住民の生命と財産を守る取り組みを強化します。

昨年(2023年)の台風21号の記憶が鮮明に残る中、今年も大きな台風が東日本を直撃し、甚大な被害が発生しました。被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

編集後記